

キーワード：  
二科会  
デザイン  
イラストレーション  
国立新美術館

本年度で第101回を迎える二科展は、公募展としては珍しく絵画・彫刻・デザイン・写真の4部門からなる展示を開催。日本を代表する公募展である。

1914年に新しい美術の確立を標榜して、石井柏亭・梅原龍三郎・有島生馬・坂本繁二郎らが文部省展覧会から分離して、在野の美術団体として「二科会」を結成した。

### 第101回記念二科展 デザイン部



### THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO 国立新美術館

日本に最初の洋風美術団体「明治美術会」が1889年に創立され、7年後の1896年に東京美術学校に洋画科が設置されたのが、わが国の洋画壇の黎明である。

この黎明期にフランスに留学した新進の芸術家たちが帰朝するに従って、文部省展覧会の審査上に新・旧二派の対立が目立ち、新・旧を一科と二科とに分離するように政府に要求したが、時期尚早なりと却下された。

そのため1914年に新しい美術の確立を標榜して、石井柏亭・梅原龍三郎・有島生馬・坂本繁二郎らが文部省展覧会から分離して、在野の美術団体として「二科会」を結成し、つづいて安井曾太郎・正宗得三郎・熊谷守一等が参加した。

以後、二科会は常に新傾向の作風を吸収して岸田劉生・佐伯祐三・小出楯重・中川一政・関根正二・林武・古賀春江・藤田嗣治・松本俊介・長谷川利行・岡本太郎・東郷青児など美術史上欠かすことのできない多く

の著名な芸術家を輩出し続けて発展してきた。

また、二科会から派生した美術団体は、独立美術協会・一水会・行動美術協会・二紀会・一陽会等がある。

さらに1979年には法人化が実現し、社団法人二科会として時代に即応した新しい歩みをはじめ、2007年からは六本木の国立新美術館に会場を移し、二科美術展覧会を開催してきた。

そして本年4月1日より公益社団法人二科会として内閣府より移行認定され、二科会の次世代への歴史の一頁を開くことになった。

第101回二科展デザイン部の作品審査が、7月23日(土)～25日(月)まで六本木・東京国立新美術館で行われ、例年同様、本学の造形学部デジタル表現デザインコースからも多くの学生が作品を出品した。一般部門ではA部門(自由テーマポスター)、B部門(イラストレーション)、C部門(特別課題ポスター)、D部門(マルチグラフィック)の4部門からなり、国内をはじめ海外から約1,181点の作品が集まった。

昨年と同様、タイ・バンコクのシラパコーン大学から学生や教員による19点の作品出品があった。Visual Communication Design学科のチャニサー先生やカニッター先生には2年連続の出品で大変感謝している。作品審査において、良い作品は当然評価されるべき精神で行われるが、日本とバンコクの異なる文化による作品評価の妥当性が今後心配するところである。それには、相互の交流が大変重要になる。





加藤之敏 〈会員出品作品 103cm × 72.8cm〉

本年度デザイン部の作品募集は、下記の4部門から作品を全国公募。

- ・A部門＝B1サイズの自由テーマによるポスター表現
- ・B部門＝B2サイズのイラストレーションによる自己表現
- ・C部門＝B1サイズの特別テーマ  
「日本遺産(Japan Heritage)」をテーマとしたポスター  
後援：文化庁
- ・D部門＝B2サイズに2点以上の小サイズ作品をレイアウト

今年のデザイン部一般公募応募作品は、国立新美術館で7/23、7/24の2日間に渡り、デザイン部会員80名により入選作品、受賞作品審査が行われた。

作品総搬入数 入選点数

A部門 304点 大賞1／特選3／奨励賞4  
 B部門 569点 大賞1／特選3／奨励賞4  
 C部門 83点 大賞1／特選3／奨励賞4  
 D部門 221点 大賞1／特選3／奨励賞4  
 合計 1,177点  
 第101回二科賞1点  
 賞は入選作品の中から選出

会期：2016年8月31日(水)～9月12日(月)  
 10:00～18:00(入場は17:30まで) 金曜日は20:00  
 まで(入場は19:30まで)  
 最終日は14:00終了(入場は13:00まで)  
 9月6日(火)は休館日  
 会場：六本木・国立新美術館  
 主催：公益社団法人二科会  
 後援：文化庁・東京都・NHK厚生文化事業団

〈全国巡回展〉

大阪展 平成28年10月25日～11月6日  
 大阪市立美術館  
 金沢展 平成28年11月11日～11月20日  
 金沢21世紀美術館  
 京都展 平成28年11月24日～12月4日  
 京都市美術館  
 東海展 平成28年12月20日～12月25日  
 愛知県美術館ギャラリー  
 広島展 平成29年1月3日～1月8日  
 広島県立美術館県民ギャラリー  
 鹿児島展 平成29年3月3日～3月12日  
 鹿児島県歴史資料センター黎明館  
 福岡展 平成29年3月22日～3月26日  
 福岡県立美術館



昨年度に続いて、タイ・バンコクにあるシラパコーン大学のデコレイティブアーツ学部ビジュアルコミュニケーション学科の学生・教員7名が19点の作品を出品してくれた。日本の公募展に作品を出品したのは昨年初めてで、授賞する作品も出ており、完成度の高い作品が多い。この大学とは以前から主に先生方と交流を持ち、2016年3月に創立60周年記念展覧会についての会議への出席依頼があったので、ビジュアルコミュニケーション学科の会議に参加した。学科長チャニサー先生はイラストレーションが専門で、日本のデザインに対しては大変興味があり好意的である。2014年12月にシラパコーン大学を訪問したときから3回目の会見になる。また、同大学のチャイヨット先生（専門：建築）は早稲田大学に長期留学経験があり日本語が堪能であるため、国際交流で相互の橋渡しのような役割を積極的に担ってくれている。

### シラパコーン大学

Silpakorn University, Wang Tha Phra Campus,  
31, Na Pralan Rd., Phra Borom Maha Ratchawang,  
Phra Nakhon, Bangkok  
創立：1943年10月12日

### 〈所属学部・学科〉

Silpakorn University シラパコーン大学 <http://www.su.ac.th>

Faculty of Decorative Arts デコレイティブアーツ学部  
<http://decorate.su.ac.th/en/>

- ・ Interior Design ・ Product Design
- ・ Ceramics ・ Fashion Design
- ・ Visual Communication Design
- ・ Applied Art Studies ・ Jewelry Design

### 〈所属キャンパス〉

ターブラ宮殿 Wang Tha Phra

### 〈その他キャンパス〉

タリンチャン Office of the President, Taling Chan

サナムチャン宮殿 Sanam Chandra Palace

ペッチャブリー IT

Phetchaburi Information Technology

### 〈タイの大学（デザイン関係学科）との交流履歴〉

- 2002年：ラチャパット大学での教員美術展の開催
- 2008年 2月：ランシット大学でのレクチャー・ワークショップの開催、シラパコーン大学訪問
- 2008年 11月：ランシット大学来校（教員1名・学生4名）
- 2010年 3月：チェンマイ大学の訪問  
12月：シラパコーン大学訪問
- 2012年 3月：シラパコーン大学来日（教員1名）
- 2013年 8月：シラパコーン大学訪問
- 2014年 8月：シラパコーン大学・バンコク大学訪問  
12月：シラパコーン大学・モンクット王工科大学訪問
- 2015年 5月：シラパコーン大学来校（教員11名・学生4名）
- 2016年 3月：シラパコーン大学・チュラーロンコーン大学訪問

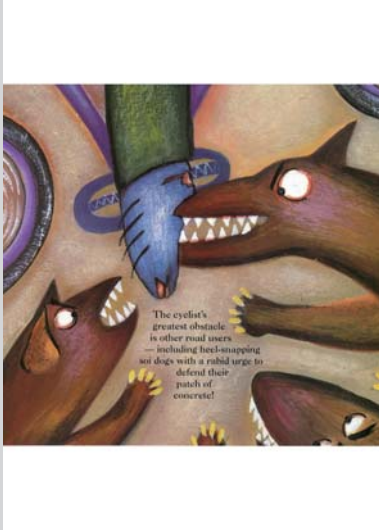
### シラパコーン大学受賞・入選作品〈作品集より〉



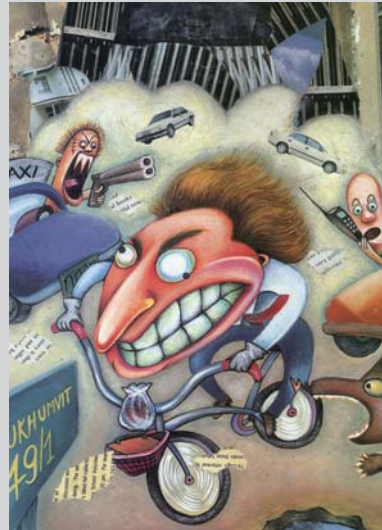
A部門 〈奨励賞〉 Patcha Chaimongkolsub



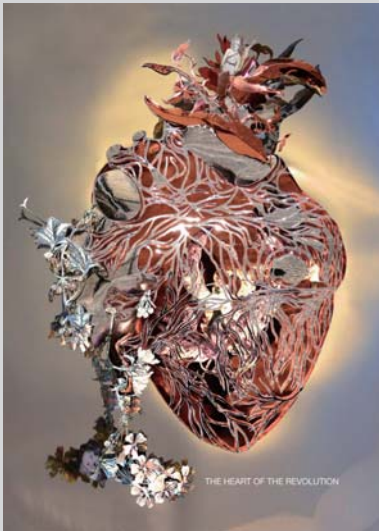
B部門 〈入選〉 Kanitta Meechubot



A 部門 〈入選〉 Chanisa Changadvech



B 部門 〈入選〉 Chanisa Changadvech



A 部門 〈入選〉 Kanitta Meechubot



B 部門 〈入選〉 Patcha Chaimongkolsub



B 部門 〈入選〉 Mutchimanon Soodsanae



B 部門 〈入選〉 Pranpriya Tangkasemjit

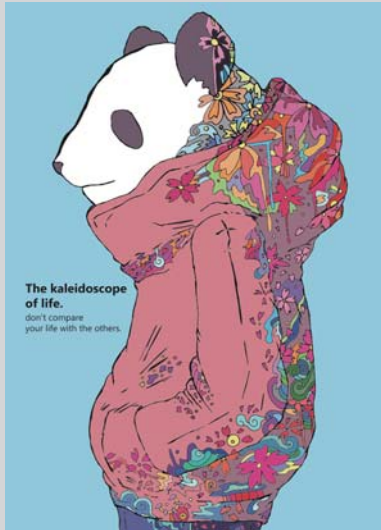




A 部門 〈入選〉 塩澤 真衣



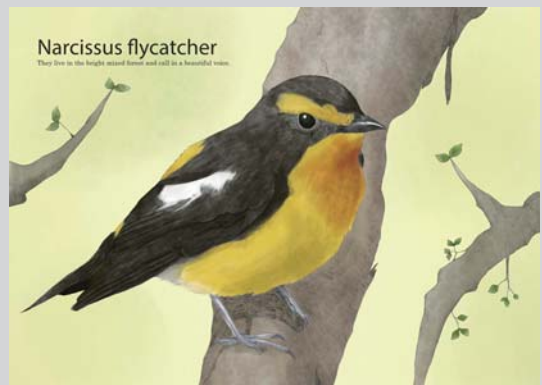
A 部門 〈入選〉 松村 綾香



A 部門 〈入選〉 曾根 知哉



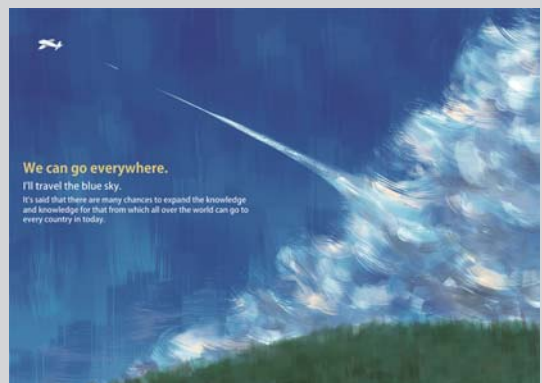
A 部門 〈入選〉 森山 栞



A 部門 〈入選〉 池ヶ谷 綾



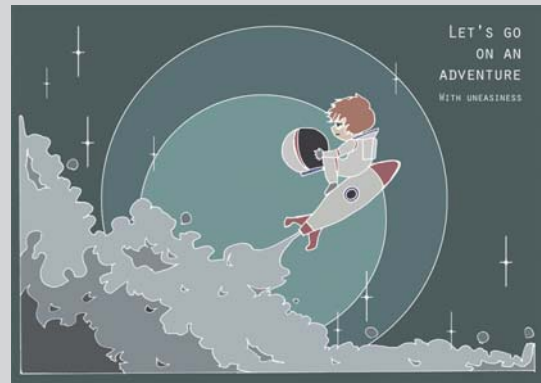
A 部門 〈入選〉 山野 瑞季



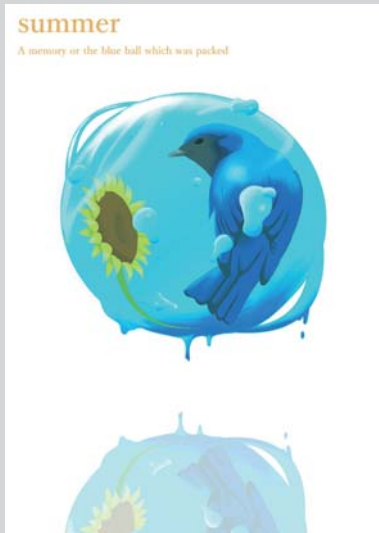
A 部門 〈入選〉 板倉 さわ



A 部門 〈入選〉 綾部 晶



A 部門 〈入選〉 伊藤 知穂



A 部門 〈入選〉 田中 葵



A 部門 〈入選〉 及川 紗里



A 部門 〈入選〉 オヌフリック磨里那



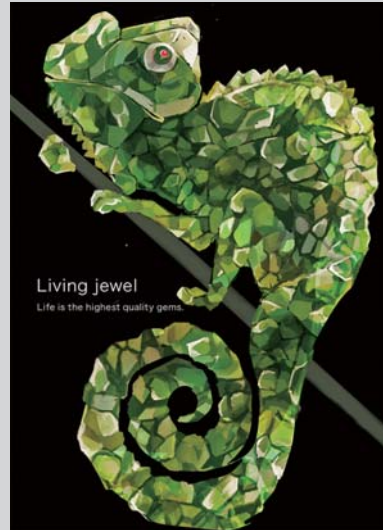
A 部門 〈入選〉 千頭和 萌



A 部門 〈入選〉 黒川 真由



A 部門 〈入選〉 下山 果歩



A 部門 〈入選〉 長屋 沙季



A 部門 〈入選〉 鈴木 小夏



A 部門 〈入選〉 濱西 冴月



A 部門 〈入選〉 田村亜佑美



A 部門 〈入選〉 中村 美咲



A 部門 〈入選〉 広沢 晴菜





A 部門 〈入選〉 三浦 育美



A 部門 〈入選〉 山下 聖乃



A 部門 〈入選〉 安本 裕輔



A 部門 〈入選〉 原田 強



A 部門 〈入選〉 高山 歩夢



A 部門 〈入選〉 山川 岳



A 部門 〈入選〉 鈴木里実子



A 部門 〈入選〉 佐藤 星花



A 部門 〈入選〉 宇田 花音



A 部門 〈入選〉 武井裕希子



A 部門 〈入選〉 江岸 琴美



A 部門 〈入選〉 都築 美佑



A 部門 〈入選〉 白井 美里



A 部門 〈入選〉 増田 朱莉



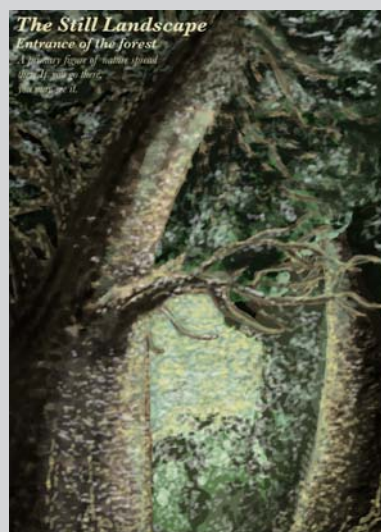
A部門 〈入選〉 大橋 雅夢



A部門 〈入選〉 宮坂 奈々



B部門 〈入選〉 田上 晴菜



A部門 〈入選〉 村田 湧一



D部門 〈入選〉 片井みさき

〈作品搬入〉 7月23日(土) 9:30～20:00

会場：六本木・国立新美術館 地下1F

〈作品整理〉 7月23・24日(土・日)

会場：六本木・国立新美術館 地下1F

〈作品搬入〉 7月21日(木) 9:30～20:00

会場：六本木・国立新美術館 地下1F

〈審査会〉

7月23日(土) 9:30～19:00

会場：六本木・国立新美術館 地下1F

7月24日(日) 9:30～16:00

会場：六本木・国立新美術館 地下1F

〈特別審査会〉 7月25日(月) 11:00～15:00

会場：六本木・国立新美術館 地下1F

〈展示〉 8月30日(火) 9:30～

会場：六本木・国立新美術館 2F

〈授賞式〉 9月3日(土) 12:00～15:00

会場：六本木・国立新美術館 講堂3F

〈ギャラリートーク〉 9月4日(日) 13:30～

会場：六本木・国立新美術館 2F

〈搬出〉 9月12日(月) 14:00～

会場：六本木・国立新美術館 2F

【引用・参考文献】

公益社団法人二科会サイトより

第101回二科展デザイン部作品集2016

101th 2016 NIKA DESIGN SECTION ART WORK COLLECTION